

株式会社エクストランス

X-MON 3.0.8

アップデート内容

内容

機能追加	4
ビジュアルマップ機能の追加	4
監視メニュー「イベントログ」に CSV ファイルでの出力機能の追加	12
変更箇所	16
AWS ELB 監視に「Availability Zone」項目の追加	16
AWS 監視値の表示変更.....	17
FQDN での登録が可能.....	18
バックアップ管理.....	19
バックアップ作成ボタンを作成中に誤ってクリックしてしまった場合の挙動について	19
X-MON サーバディスク監視/X-MON サーバプロセス監視の追加.....	20
重大な不具合	21
サービス監視用コマンド	21
HTTP(HTTPS)ネームベースバーチャルホスト監視	21
ネットワークインタフェース監視.....	21
Windows イベントログ復旧監視	21
NRPE 経由でのディスク監視.....	21
WMI を使用した監視全般.....	22
SNMPv3 CPU 監視（コア数分割）	22
監視メニュー.....	23
Windows イベントログ警告管理	23
イベントログ	23
簡易レポート	23
管理者メニュー	23
ホスト管理.....	23
設定一括変更	23
syslog 管理.....	23
メール送信設定.....	24
X-MON 再起動	24
不具合の修正	25
サービス監視用コマンド	25
WMI によるサービス監視全般.....	25
監視メニュー.....	25
サービス一覧表示	25
ホスト/サービス詳細.....	25
ホスト/サービス情報.....	25
ホストグループ/サービスグループ表示	25
簡易レポート	25

マップ	26
TRAP 履歴	26
管理者メニュー	26
ホスト管理	26
設定一括変更	26
SNMP TRAP 管理	27
syslog 管理	27
通知メール文章設定	27
外部連携	27
高度な設定	27
構成管理	27
バックアップ管理	27
その他の修正	28
表	29
イベントログ CSV エクスポート(出力項目)	29
メッセージ - 加工済みログ一覧	30

機能追加


X-MON バージョン 3.0.8 で以下の機能を追加しました。

ビジュアルマップ機能の追加

マップの新機能「ビジュアルマップ」を追加しました。

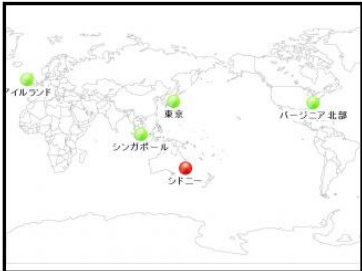
地図、フロア図、写真などの任意の画像を背景としたネットワーク図を作成することができます。
障害発生時は、任意のオブジェクトやラインの表示を変更することができます。

★
の
※

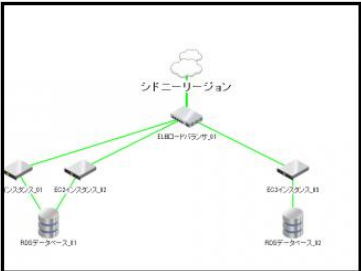
ビジュアルマップ

ビジュアルマップ | [ネットワークマップ ツリー表示](#) | [ネットワークマップ ドリルダウン表示](#) | [ロケーションマップ](#)

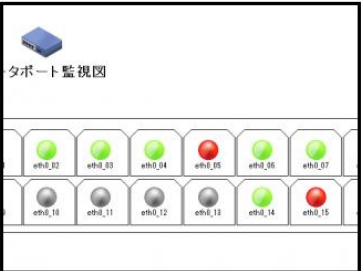
ビジュアルマップ管理




AWSリージョンイメージ



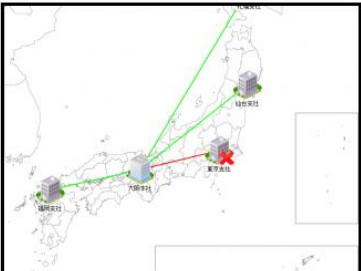
AWS各インスタンスのイメージ



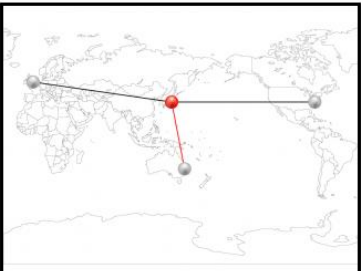
ポート管理(イメージ図)



ポート管理(RTX)

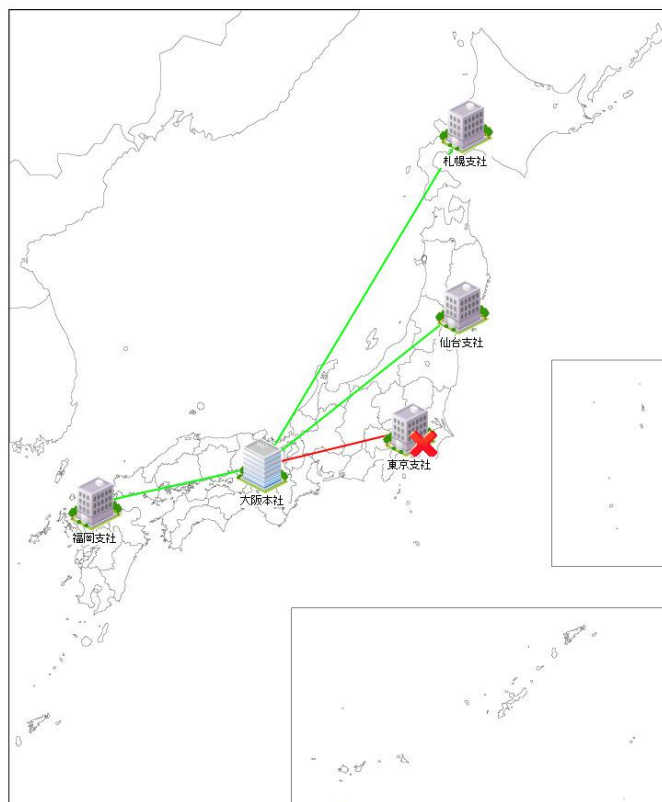


日本地図

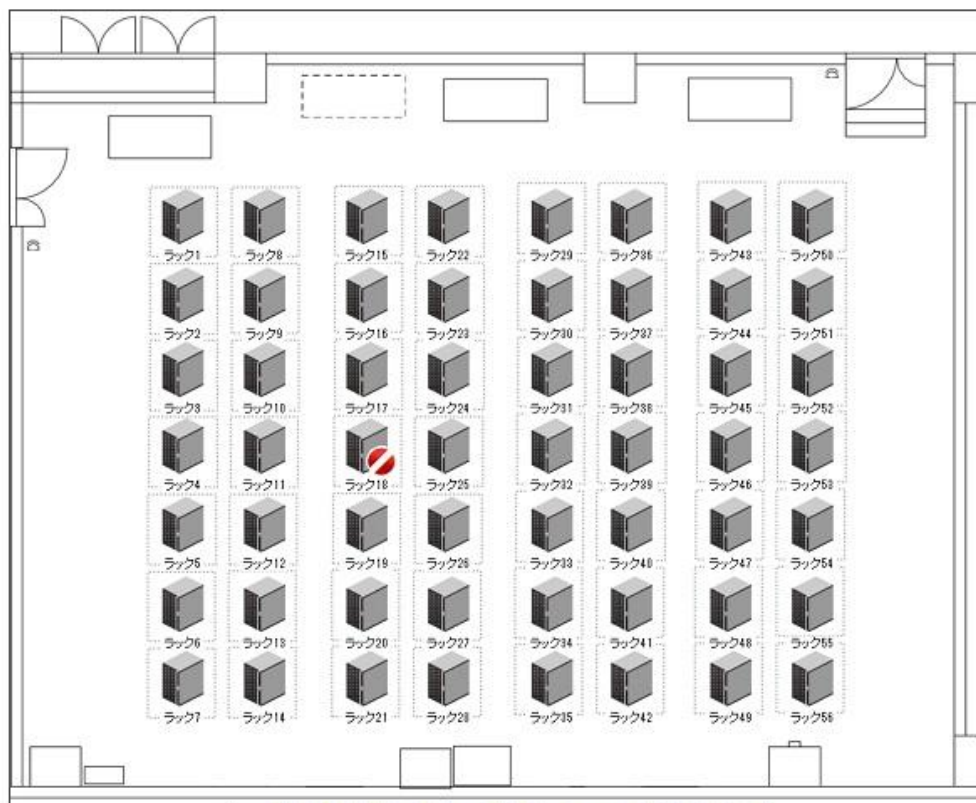


世界地図

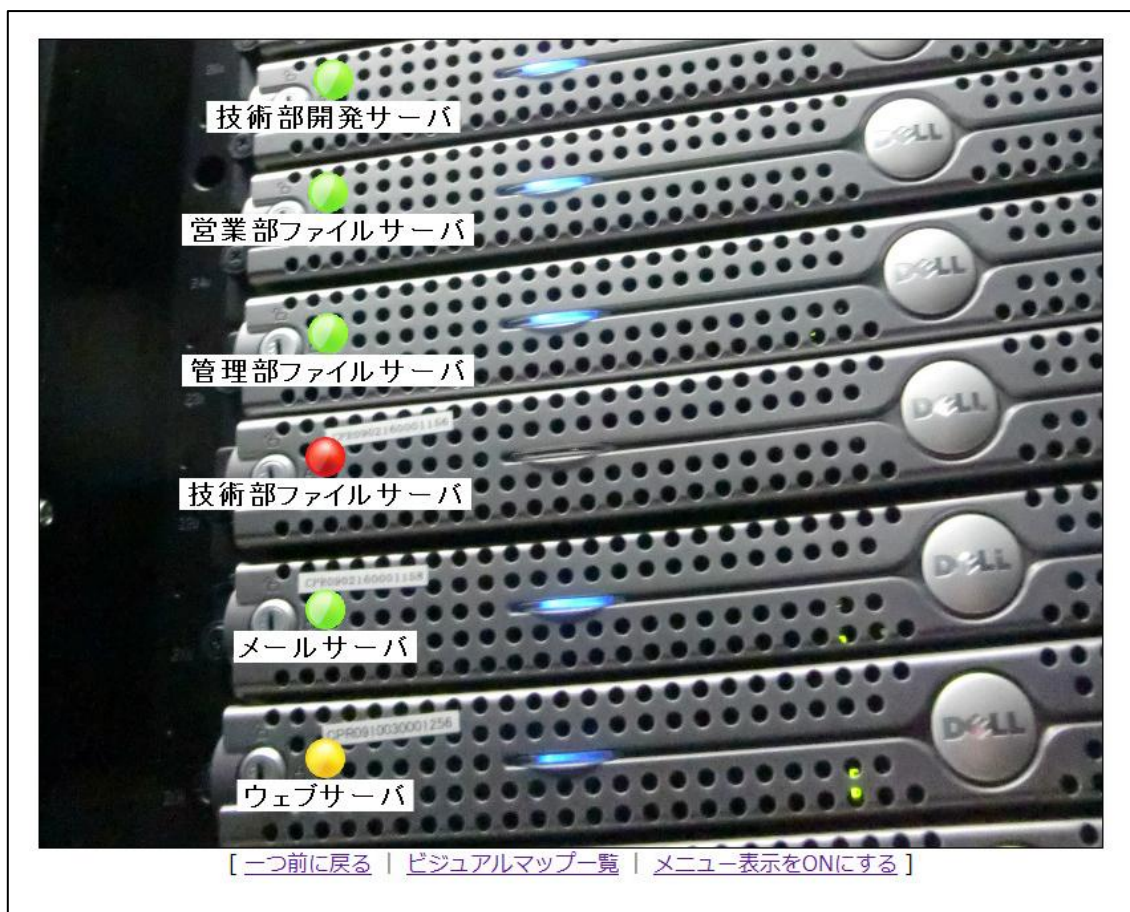
障害が発生しています。



[[一つ前に戻る](#) | [ビジュアルマップ一覧](#) | [メニュー表示をONにする](#)]



[[一つ前に戻る](#) | [ビジュアルマップ一覧](#) | [メニュー表示をOFFにする](#)]

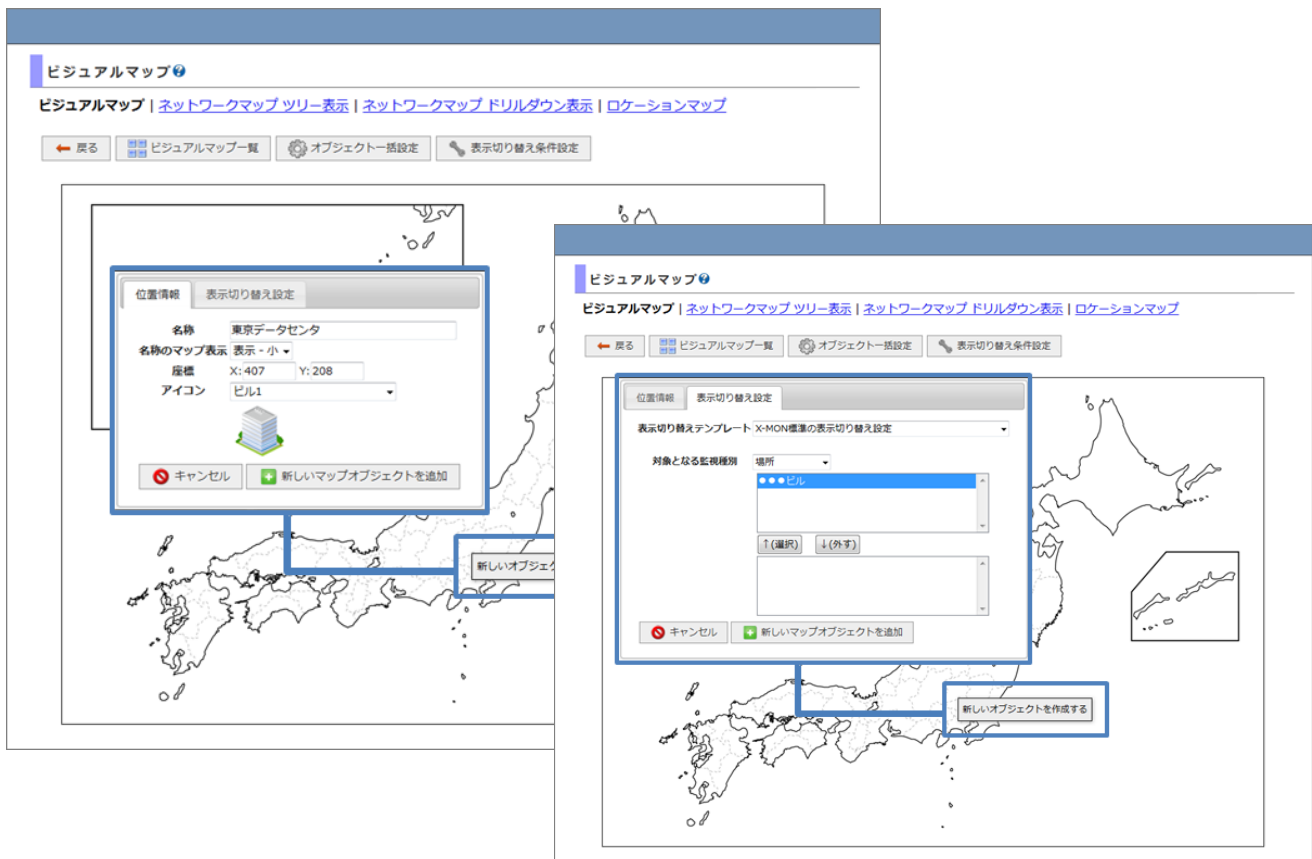


■監視メニュー「マップ」から利用できます。

ビジュアルマップの作成は「ビジュアルマップ管理」から行います。



■ マップに配置するオブジェクトの作成は、マップ上の操作で行います。



■複数のオブジェクトを一括で作成したい場合は、CSV ファイルデータまたは既存の監視設定から作成することが可能です。



■既存の監視設定からホストまたはサービスのオブジェクトの追加を行う場合は「オブジェクト一括設定 - 監視設定からオブジェクトを追加」より行うことが可能です。



■オブジェクト同士をラインで結び、障害発生時に色を変更させることが可能です。



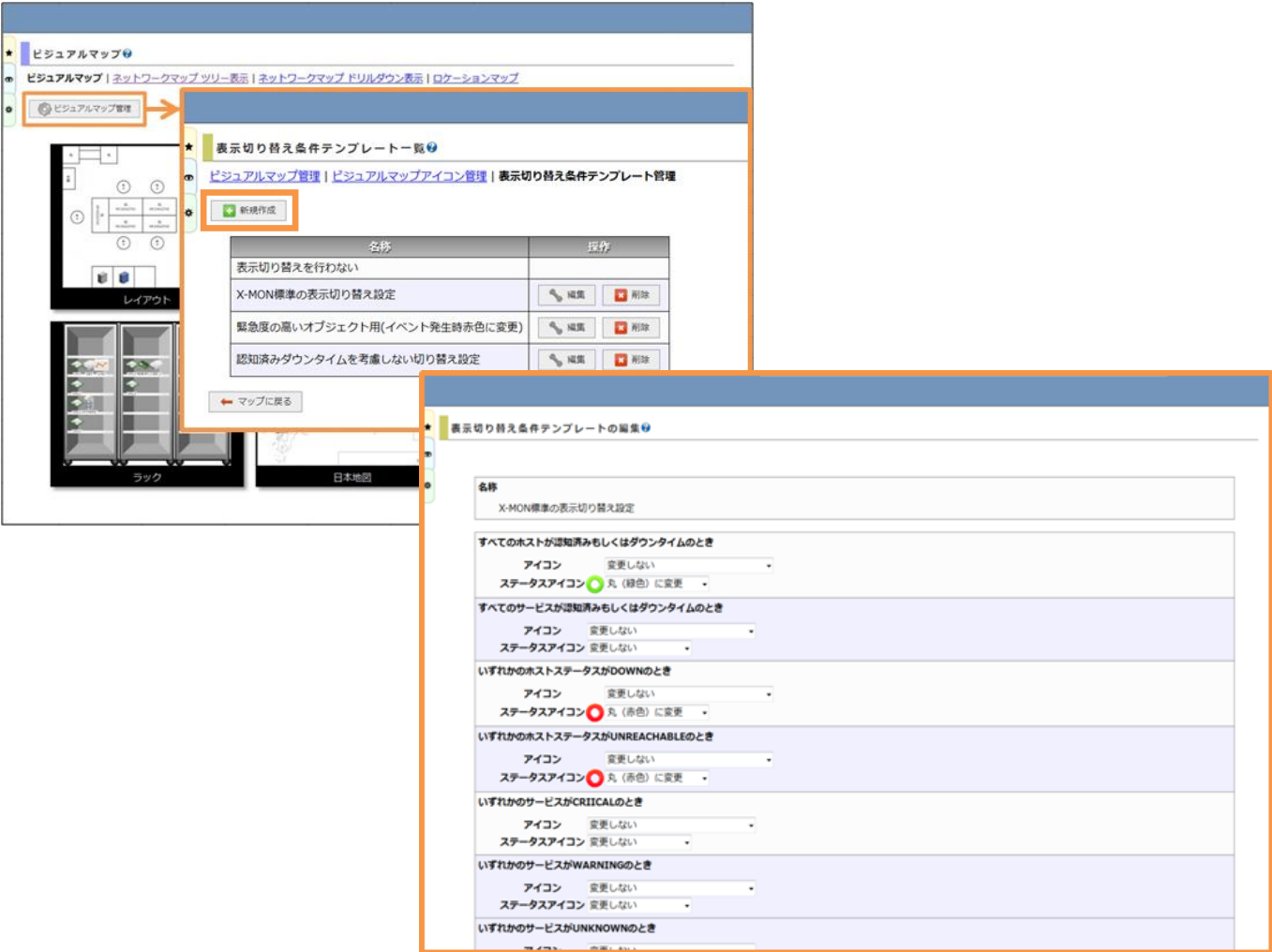
■オブジェクトを左クリックした際に、任意のページへ移動できるよう設定することが可能です。

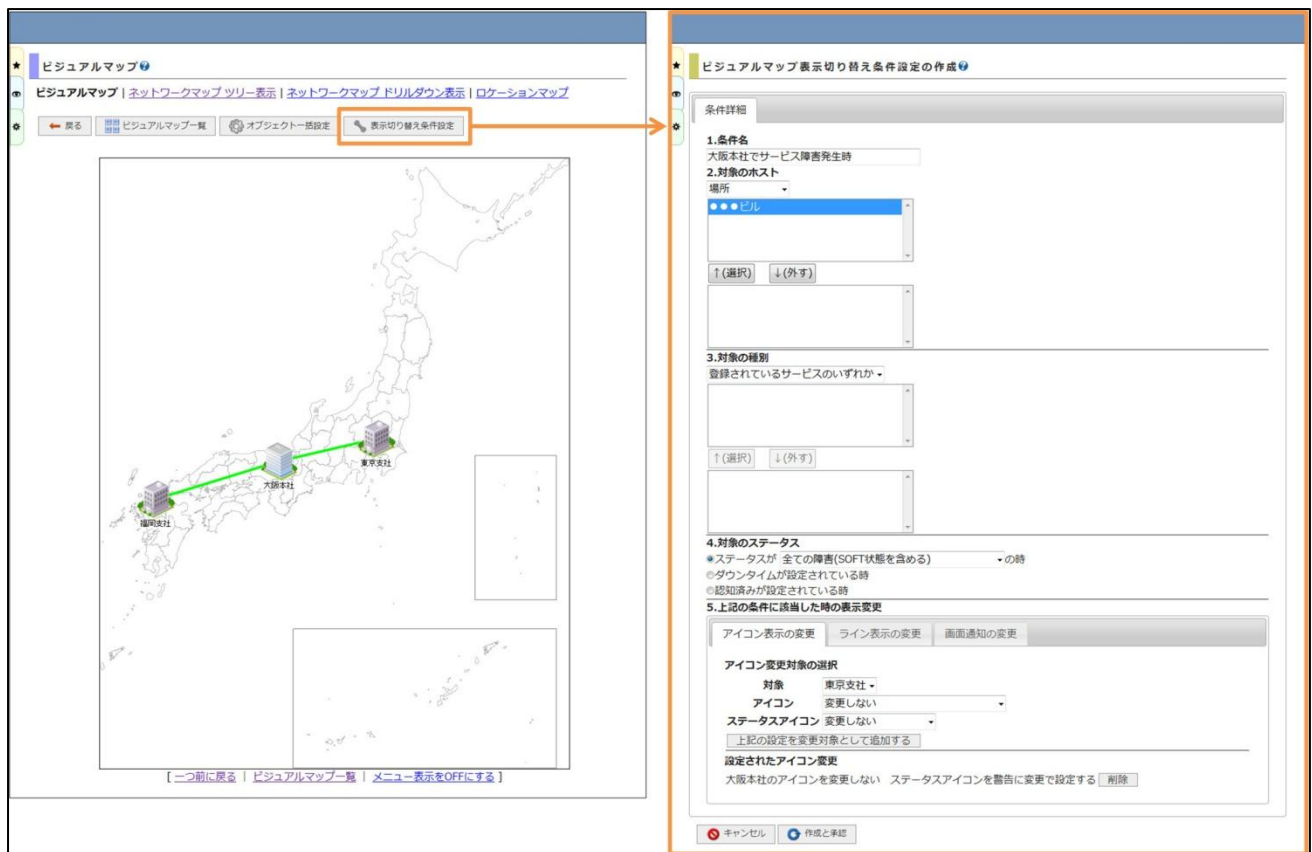


■オブジェクトに利用するアイコンは「ビジュアルマップアイコン管理」より任意の画像を設定することができます。



■障害が発生したオブジェクトやラインの表示を変更させるには「表示切り替え条件テンプレート管理」及び「表示切り替え条件設定」より設定を行います。





ビジュアルマップの詳細な設定マニュアルにつきましては、
X-MON サポートサイトにて配布しております。

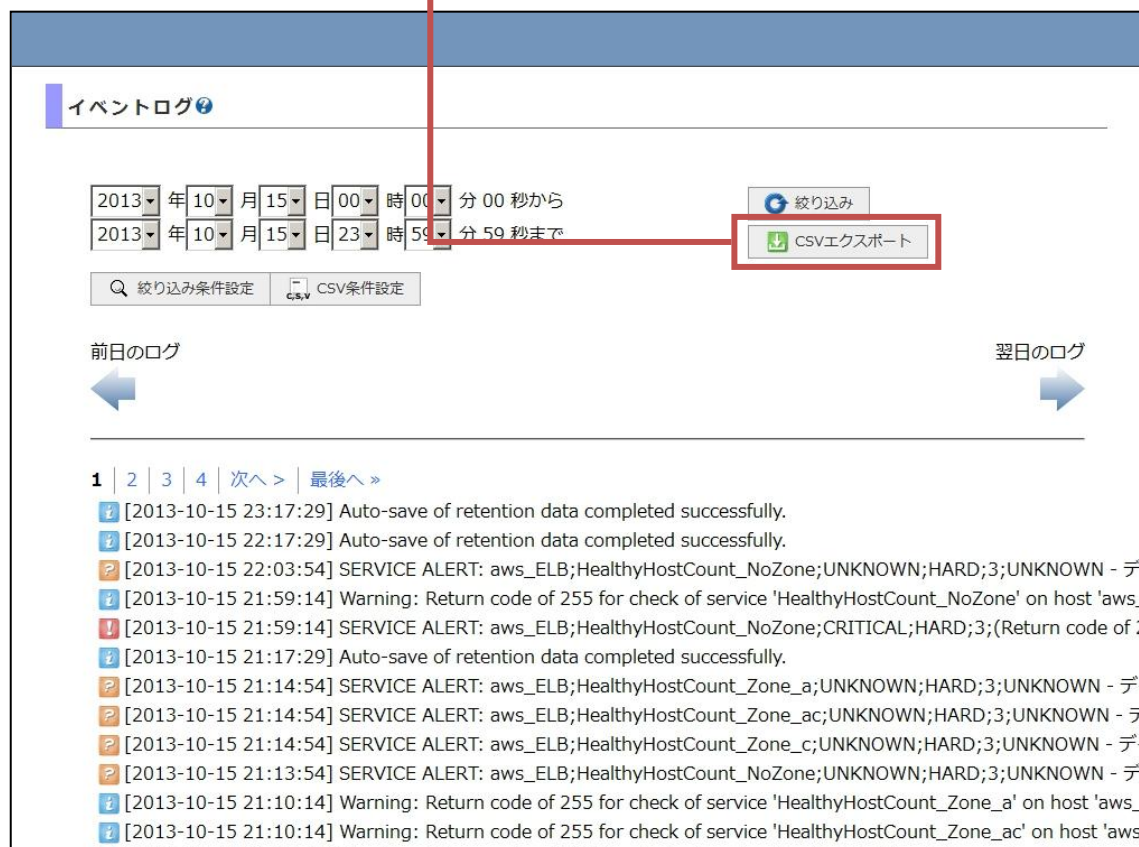
<https://x-mon.jp/support/>

(ダウンロード - マニュアルよりダウンロードして頂けます。)

監視メニュー「イベントログ」に CSV ファイルでの出力機能の追加

イベントログに表示されていたログ情報を CSV ファイルに出力する機能が新たに追加されました。

① [CSV エクスポート] ボタンをクリックすることで
対象のログ情報を CSV ファイルとして出力します



CSV ファイルの出力項目は、イベントログ表示画面と同様に「日付」と「ログ情報」が出力されています。

例)

2013/10/15 20:06, SERVICE ALERT: Server_A;PING;CRITICAL;HARD;2;PING CRITICAL - Packet loss = 100%

2013/10/15 20:06, HOST ALERT: Server_A;DOWN;HARD;1;PING CRITICAL - Packet loss = 100%

出力項目は、変更でき任意の項目を出力させることが可能です。

出力項目は「イベントログ CSV エクスポート(出力項目)」をご参照ください。

- ① [CSV 条件設定] をクリックすることで
CSV 出力項目選択画面を表示します。

イベントログ

2013 年 10 月 17 日 00 時 00 分 00 秒から
2013 年 10 月 17 日 23 時 59 分 59 秒まで

絞り込み CSVエクスポート

絞り込み条件設定 CSV条件設定

CSV条件設定
※ エクスポートを行う項目は、その他設定 よりデフォルト設定を行います。
出力するログ情報は、期間の設定、絞り込み条件設定 で指定されている情報を出力します。

日付
☒ DATE (2013-07-02 22:00:03) ☐ UNIX TIME (1372770003)

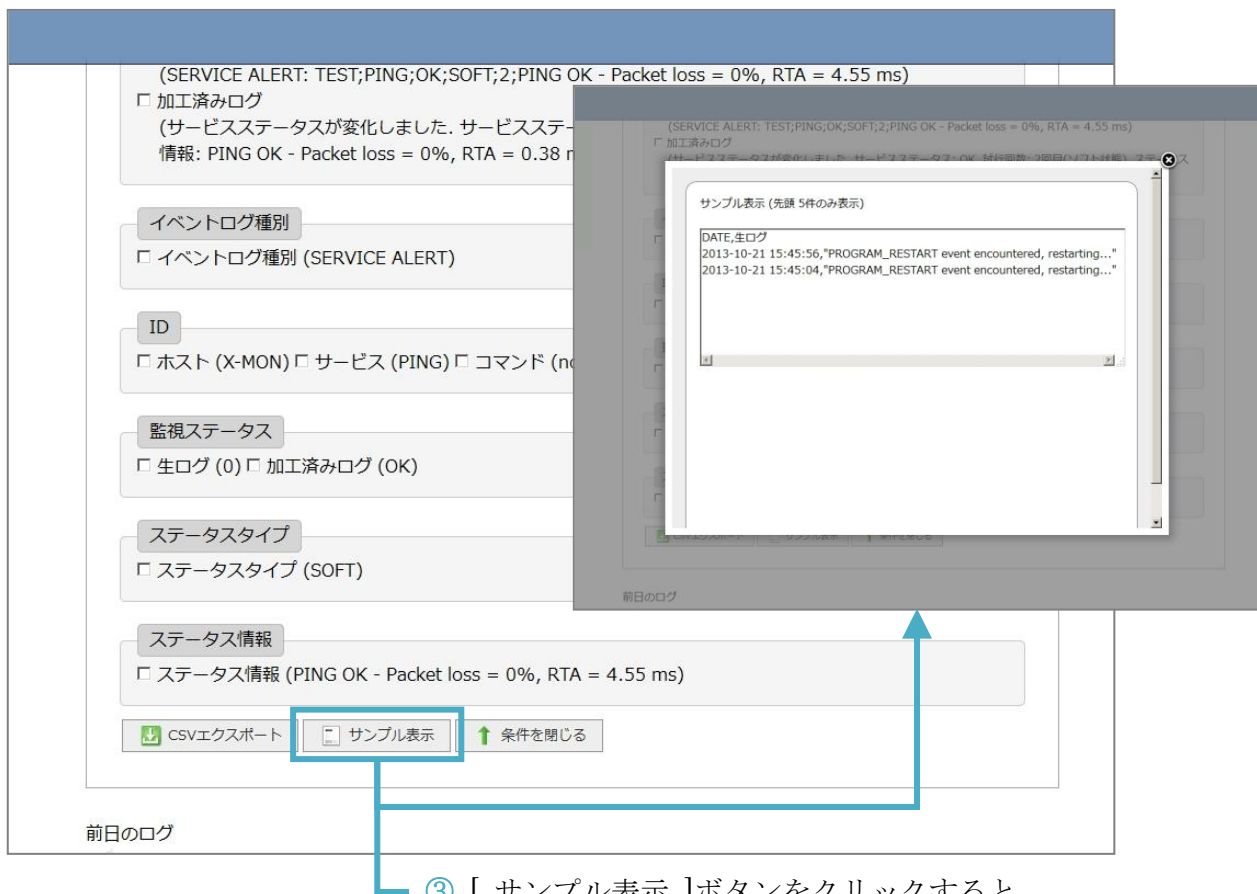
メッセージ
☒ 生ログ
(SERVICE ALERT: TEST;PING;OK;SOFT;2;PING OK - Packet loss = 0%, RTA = 4.55 ms)
☐ 加工済みログ
(サービスステータスが変わりました。 サービスステータス: OK, 試行回数: 2回目(ソフト状態), ステータス
情報: PING OK - Packet loss = 0%, RTA = 0.38 ms)

イベントログ種別
☐ イベントログ種別 (SERVICE ALERT)

ID

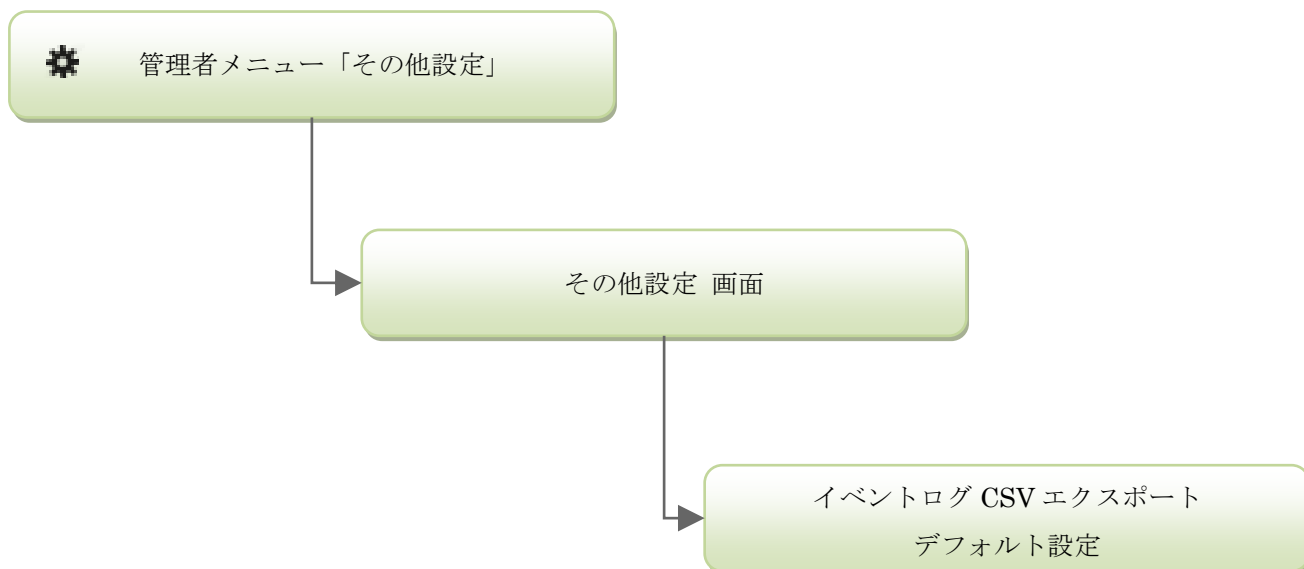
- ② CSV 出力項目選択画面では、チェックボックスにチェックの
付いている項目を対象とし、CSV ファイルに出力します。

CSV ファイルを出力せず、こういった項目や内容で出力されるのか確認を行いたい場合、[サンプル表示] ボタンより出力内容の確認を行えます。



- ③ [サンプル表示] ボタンをクリックすると CSV ファイルのダウンロードを行わず、出力内容が確認できます。
- ※ ただし、表示件数は 5 件までです。

- [CSV 条件設定]をクリックし、表示される管理者メニュー側「イベントログ CSV エクスポート - デフォルト設定」より標準チェック項目の指定を行います。



イベントログ CSV エクスポート - デフォルト設定

日付

☒ DATE (2013-07-02 22:00:03)
 ☐ UNIX TIME (1372770003)

メッセージ

☒ 生ログ
 (SERVICE ALERT: TEST;PING;OK;SOFT;2;PING OK - Packet loss = 0%, RTA = 4.55 ms)
 ☐ 加工済みログ
 (サービスステータスが変化しました. サービスステータス: OK, 試行回数: 2回目(ソフト状態), ステータス情報: PING OK - Packet loss = 0%, RTA = 0.38 ms)

イベントログ種別

☐ イベントログ種別 (SERVICE ALERT)

ID

☐ ホスト (X-MON)
 ☐ サービス (PING)
 ☐ コマンド (notify-by-email)

監視ステータス

☐ 生ログ (0)
 ☐ 加工済みログ (OK)

ステータスタイプ

☐ ステータスタイプ (SOFT)

ステータス情報

☐ ステータス情報 (PING OK - Packet loss = 0%, RTA = 4.55 ms)

変更箇所

AWS ELB 監視に「Availability Zone」項目の追加

X-MON3.0.7バージョンでは、対象のロードバランサに含まれる全ての Availability Zone の監視を行っていました。

新たに「Availability Zone」項目が追加されたことにより、本 X-MON3.0.8 バージョンより Availability Zone の指定を行えるようになりました。

※ X-MON3.0.7 バージョンで既に ELB 監視を行っている場合、「Availability Zone」項目は未入力状態になります。

未入力状態の場合全ての Availability Zone の監視を行いますので、指定する必要がない場合設定変更の必要はございません。そのままご使用になれます。

The screenshot displays the 'サービスの作成' (Service Creation) page. Under the '基本設定' (Basic Settings) section, the following fields are visible:

- ホストID(英数字): ELB
- サービスID(英数字): [Empty text box]
- サービス監視用コマンド:
 - AWS ELB (Selected in dropdown)
 - AWS/ELB 有効インスタンス数監視 (Selected in dropdown)
 - 粒度(秒): 300
 - Availability Zone**: [Empty text box, highlighted with a red box]
 - WARNINGしきい値: [Empty text box]
 - CRITICALしきい値: [Empty text box]
- 通知先グループ: [Empty list area with up/down arrows and '↑(選択)' / '↓(外す)' buttons]

AWS 監視値の表示変更

AWS 監視の監視値を小数点第 2 位まで表示するよう変更しました。対象の監視プラグインは以下となります。

- AWS/RDS 空きメモリ監視
- AWS/RDS DISK 読込監視 (IOPS)
- AWS/RDS DISK 読込監視 (スループット)
- AWS/RDS SWAP 使用量監視
- AWS/RDS DISK 書込監視 (IOPS)
- AWS/RDS DISK 書込監視 (スループット)
- AWS/EC2 DISK 読込回数監視
- AWS/EC2 DISK 読込量監視
- AWS/EC2 DISK 書込回数監視
- AWS/EC2 DISK 書込量監視
- AWS/ELB 有効インスタンス数監視
- AWS/ELB 無効インスタンス数監視

FQDN での登録が可能

ホスト登録時の「IP アドレス」項目に FQDN で登録を行えるようになりました。

ホストの作成

すべて開く

▼ 基本設定

ホストID(英数字)

ホスト名称

種別

物理サーバ

IPアドレス/FQDN

MACアドレス

☒ 監視を行う ☐ 監視は行わない

▶ SNMP認証設定

▶ WMI認証設定

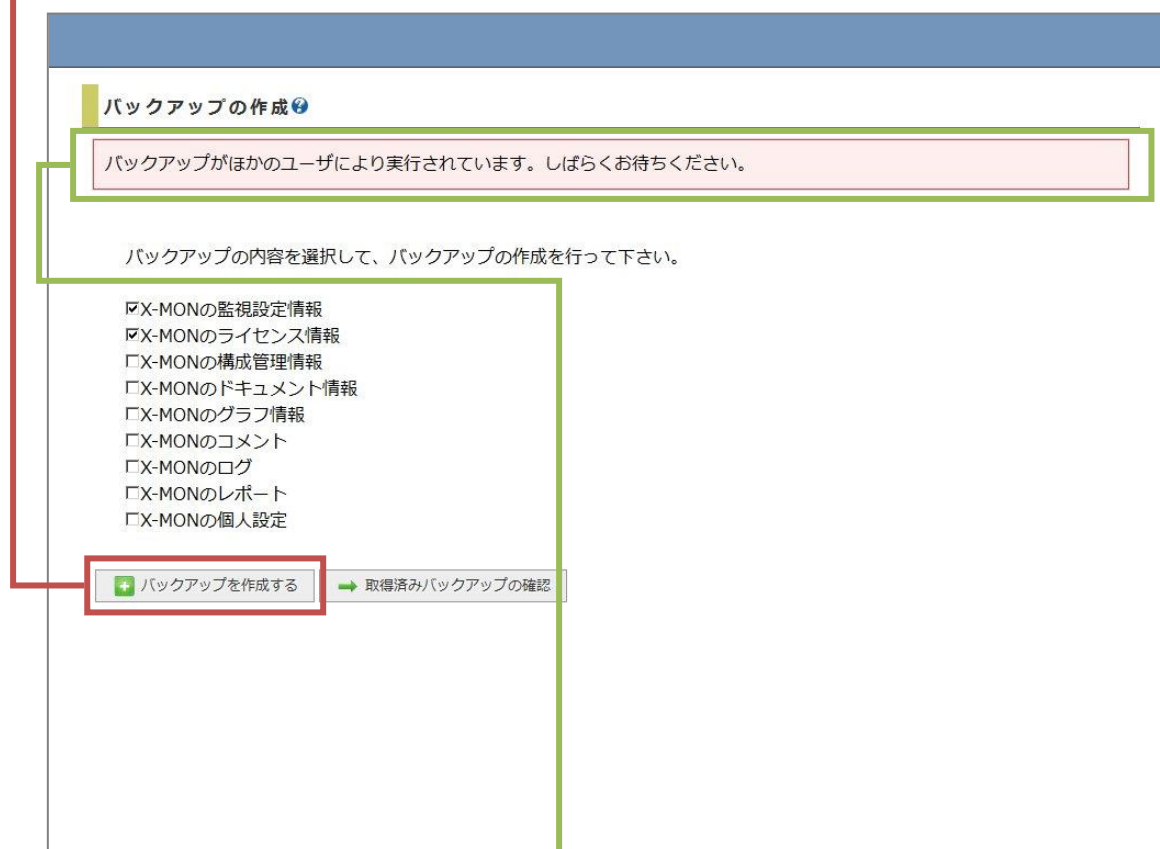
▶ AWS設定

バックアップ管理

バックアップ作成ボタンを作成中に誤ってクリックしてしまった場合の挙動について

バックアップファイルの作成ボタンを作成中に誤ってクリックしてしまった場合、バックアップファイルの作成を多重に行わないように変更されました。

- ① [バックアップを作成する]をバックアップファイル作成中に再度クリックする



- ② 警告文が表示され、バックアップファイルが作成されません。

X-MON サーバディスク監視/X-MON サーバプロセス監視の追加

X-MON の稼働に必要なプロセスの監視をデフォルトで設定追加されるように変更しました。
X-MON 自体の障害を確認することができます。

サービス一覧表示 ⓘ

ホストID検索

ホストID (ホスト名称)	サービスID	状態	最終チェック時刻	経過時間	実行回数	ステータス情報
X-MON (X-MON)	PING	正常(OK)	2013-10-24 18:33:27	0日と02時間00分30秒	1/3	PING OK - Packet loss = 0%, RTA = 0.06 ms
	XMON_CHECK_DISK	正常(OK)	2013-10-24 18:28:57	0日と01時間59分50秒	1/1	DISK OK - free space: / 26320 MB (33% inuse=97%)
	XMON_CHECK_cron	正常(OK)	2013-10-24 18:29:27	0日と01時間59分20秒	1/1	PROCS OK: 1 process with command name 'cron'
	XMON_CHECK_nscd	正常(OK)	2013-10-24 18:29:57	0日と01時間59分50秒	1/1	PROCS OK: 1 process with command name 'nscd'
	XMON_CHECK_postfix	正常(OK)	2013-10-24 18:30:27	0日と01時間59分20秒	1/1	PROCS OK: 6 processes with command name 'postmaster'
	XMON_CHECK_rsyslog	正常(OK)	2013-10-24 18:31:27	0日と01時間59分50秒	1/1	
	XMON_CHECK_snmp	正常(OK)	2013-10-24 18:31:57	0日と01時間59分50秒	1/1	
	XMON_CHECK_snmptrap	正常(OK)	2013-10-24 18:32:27	0日と01時間59分50秒	1/1	
	XMON_CHECK_snmpv3	正常(OK)	2013-10-24 18:32:57	0日と01時間59分50秒	1/1	

条件にあった 10 個のサービスを表示しています

XMON_CHECK_DISK 正常(OK)

XMON_CHECK_cron 正常(OK)

XMON_CHECK_nscd 正常(OK)

XMON_CHECK_postfix 正常(OK)

XMON_CHECK_rsyslog 正常(OK)

XMON_CHECK_snmp 正常(OK)

XMON_CHECK_snmptrap 正常(OK)

XMON_CHECK_snmpv3 正常(OK)

フィルタ:
 状態の種類: 全て
 サービスの種類: 全て
 プロセスの種類: 全て
 ホストの種類: 全て

サービス監視用コマンド

その他

X-MONサーバディスク監視 ▼

パーティション名

単位

WARNINGしきい値

CRITICALしきい値

タイムアウト

①X-MON サーバディスク監視

X-MON サーバのディスク使用量を監視します。任意のパーティションを監視することが可能です。

サービス監視用コマンド

その他

X-MONサーバプロセス監視 ▼

プロセス名

タイムアウト

②X-MON サーバプロセス監視

X-MON サーバ内で稼働中のプロセスを監視します。X-MON の稼働に必要なプロセスの監視は初期登録されています。

重大な不具合

X-MON バージョン 3.0.8 で以下の重大な不具合を修正しました。

サービス監視用コマンド

HTTP(HTTPS)ネームベースバーチャルホスト監視

HTTP および HTTPS ネームベースバーチャルホスト監視で指定したバーチャルホスト名ではなく、サービス監視の登録されたホストの IP アドレスを参照する不具合の修正
対象の監視プラグインは以下となります。

- HTTP ネームベースバーチャルホストの監視
- HTTPS ネームベースバーチャルホストの監視

ネットワークインタフェース監視

以下のネットワークインタフェース監視において、SNMP バージョンを「2c」と指定した場合に正しく監視が行われない不具合の修正

- ネットワークインタフェース監視
- NRPE 経由でのネットワークインタフェース監視

Windows イベントログ復旧監視

WMI による Windows イベントログ監視(自動復旧)について、監視時間内にエラーログと復旧ログを複数検出した場合、監視時間内で最も古いエラーログと復旧ログで監視結果を判定する不具合の修正

NRPE 経由でのディスク監視

NRPE 経由でのディスク監視において、「/」以外を指定した場合に監視結果がグラフ生成されない不具合の修正

WMI を使用した監視全般

監視チェックコマンドに記号を含む文字列を設定した場合、監視が正常に行われない不具合の修正

対象の監視プラグインは以下となります。

- WMI による Windows サービス監視
- WMI による WindowsCPU 使用率監視
- WMI による Windows プロセスメモリ監視
- WMI による Windows イベントログ監視
- WMI による Windows プロセス監視
- WMI による Windows イベントログ監視(自動復旧)
- WMI による Windows ディスク空き容量監視
- WMI による Windows メモリ空き容量監視
- Hyper-V ゲスト CPU 監視
- Hyper-V CPU 監視
- Hyper-V 仮想スイッチ受信量監視
- Hyper-V 仮想スイッチ送信量監視
- Hyper-V ゲストストレージデバイス (エラー) 監視
- Hyper-V ステータス監視
- Hyper-V ゲストストレージデバイス (読み取り/書き込み) 監視

SNMPv3 CPU 監視 (コア数分割)

SNMPv3 CPU 監視 (コア数分割) において、正しく監視が行われない不具合の修正

監視メニュー

Windows イベントログ警告管理

大量のイベントログが格納されている場合、Windows イベントログ警告管理画面が表示されない不具合の修正

イベントログ

同時刻に発生した X-MON イベントログが表示されない不具合の修正

簡易レポート

その他設定 - メール送信設定にて、メールの送信方法を「SMTP サーバ経由での送信」に指定している場合、簡易レポートの定期生成時のメールが送信されない不具合の修正

管理者メニュー

ホスト管理

SNMP 監視にて SNMP バージョン v3 を選択しコミュニティ名・各認証パスワードに特殊記号を使用すると正しく監視が行われない不具合の修正

設定一括変更

- CSV 設定一括変更にて監視コマンド引数に「0」を入力した CSV ファイルをインポートした場合に、「0」が監視設定に反映されない不具合の修正
- CSV 設定一括変更にて、ホスト CSV ファイルに監視パッケージを適用する際、ユーザマクロ部分がホストの情報に置換されない不具合の修正

syslog 管理

- 式ベースフィルタで syslog 監視設定を行っているホストの IP アドレスを変更すると syslog 監視が正常に行われなくなる不具合の修正
- 式ベースフィルタで syslog 監視設定を行っている場合に、syslog 検知時に対象ホストのサービス全てに対して監視ステータスの変更を行う不具合の修正
- X-MON の rsyslog 停止処理中に、式ベースフィルタで syslog 監視設定を行っているホスト全てに対して監視ステータスの変更を行う不具合の修正

メール送信設定

SMTP サーバ経由での送信を設定している場合、長い文字列を含む通知メールで文字化けが発生する不具合の修正

X-MON 再起動

- 任意 SNMP TRAP 監視設定後、設定内容が反映されず受信した TRAP が不明 TRAP ログに記録される不具合の修正
- 分散監視を行っている X-MON の X-MON プロセスをコマンドラインから停止・再起動を行った場合、分散監視結果を受信すると NSCA が停止する不具合の修正

不具合の修正

X-MON バージョン 3.0.8 で以下の不具合を修正しました。

サービス監視用コマンド

WMI によるサービス監視全般

WMI による Windows イベントログ監視(自動復旧)にて、復旧ログの一部が X-MON に取り込まれず、ログの表示に漏れが発生する不具合の修正

監視メニュー

サービス一覧表示

サービスグループ表示のオーバービュー表示にてサービスグループによる表示の絞り込みが行われない不具合の修正

ホスト/サービス詳細

ホスト及びサービスの詳細画面からイベントログ画面に遷移すると、ページャーが表示されず最新 50 件より過去のログが表示されない不具合の修正

ホスト/サービス情報

存在しないホストおよびサービスに対してドキュメントの関連付けができてしまう不具合の修正

ホストグループ/サービスグループ表示

ホストグループサマリ表示画面のグラフアイコンをクリックしたとき、グラフ生成を行っていないサービスを含むホストがあるとエラーが表示される不具合を修正

簡易レポート

- 定期生成時にレポートに出力する内容が無い場合は、レポートを出力しないよう修正
- ユーザグループに公開されていない保存済みレポートの編集時に、レポート公開設定で閲覧可能なユーザグループを選択できてしまう不具合を修正
- 定期生成されたレポートを編集・別名保存した際に、保存先の案内メッセージを表示するよう修正

マップ

- ネットワークマップにて、ホストをブラウザごとの上限数を超過して横に並べた場合にマップの一部が表示されなくなる旨のメッセージを表示するよう修正

<閲覧ブラウザごとの上限数>

FireFox … 約 410 台

Google Chrome … 約 100 台

Internet Explorer … 約 100 台

- マップのドリルダウン表示でグループの絞り込みができないよう修正
- ネットワークマップにて、ホスト名にアンダーバーを使用しており、アンダーバー前が同値のホストを複数登録するとマップが正常に表示されなくなる不具合の修正

TRAP 履歴

閲覧者ユーザは不明 TRAP ログが閲覧できないよう変更

管理者メニュー

ホスト管理

- ホスト削除時に、対象ホストが閲覧者ユーザの閲覧権限のあるホストグループに含まれている場合、削除できないよう修正
- ホスト登録時、以下の項目に入力できない記号をセミコロンのみに変更

<snmp 認証設定>

- ・ コミュニティ名/認証ユーザ
- ・ 認証パスワード (snmp バージョン : Version3)
- ・ 暗号化パスワード (snmp バージョン : Version3)

設定一括変更

- ホストおよびサービスの設定一括変更処理中にタイムアウトし、設定が正常に変更されない不具合の修正
- CSV 設定一括変更のサービスの設定にて、1 ホストに登録可能なサービス数の上限を超えた場合、上限を超えていないホストのサービスについてもエラーメッセージが表示される不具合の修正
- CSV 設定一括変更のサービスの設定にて、登録済みのサービス編集時不要な引数に項目があった場合に警告文を表示するよう修正

SNMP TRAP 管理

- MIB ファイルの定義名に、特定の使用できない文字を使用した場合、登録を行わないように修正
- MIB ファイルのアップロード時に、ファイル名に半角括弧を含んでいる場合、MIB ファイルの登録が行われない不具合の修正

syslog 管理

- 式ベースフィルターで **syslog** 監視設定を行っているサービスを削除しても **syslog** 監視設定が削除されない不具合の修正
- イベントログにて **syslog** 監視の検出ログが途中で途切れる不具合の修正

通知メール文章設定

- X-MON からのアラートメールのヘッダーに不要なダブルクォーテーションが含まれてしまう不具合の修正
- X-MON からのアラートメールの件名・本文にマクロ(\$HOSTSTATELABEL_E\$等)を使用しマルチバイト文字を設定したとき、通知メールで文字化けが発生する不具合の修正

外部連携

- 分散監視(NSCA)受信設定を変更後、X-MON の再起動案内が表示されない不具合の修正

高度な設定

監視プラグイン設定にて引数を「\$arg1\$」のように小文字で記載した場合に監視が正常に行われない不具合について、引数が小文字で記載された場合に大文字に変換するよう修正。

構成管理

- ラック編集時、ラックに機器が設置されている場合、ラックのユニット数を変更できないよう修正
- ホストの構成情報の編集画面で、場所及びラックの指定時に「新しいラックを登録する」から新たにラックを作成し、そのまま「ここに設置」をクリックするとホストが設置できない不具合を修正

バックアップ管理

X-MON3.0.3 以前のバックアップファイルをリストアすると NSClient++CPU 監視のグラフが生成されなくなる不具合の修正

その他の修正

その他文言・画面表示の修正、ヘルプ追記

表

イベントログ CSV エクスポート(出力項目)

グループ	項目	説明
日付	DATE	ログ発生日時を DATE 形式で出力します。 例) 2013-07-02 22:00:03
	UNIX TIME	ログ発生日時を UNIX TIME 形式で出力します。 例) 1372770003
メッセージ	生ログ	イベントログ画面に表示されているログメッセージをそのまま出力します。 例) SERVICE ALERT: TEST;PING;OK;SOFT;2;PING OK - Packet loss = 0%, RTA = 4.55 ms
	加工済みログ	イベントログ画面に表示されているログメッセージを確認しやすいメッセージに加工し出力します。 例) サービスステータスが変化しました. サービスステータス: OK, 試行回数: 2 回目(ソフト状態), ステータス情報: PING OK - Packet loss = 0%, RTA = 0.38 ms
イベントログ種別	イベントログ種別	警告履歴や外部コマンドといった種別を出力します。 例) SERVICE ALERT
ID	ホスト	対象のホスト ID を出力します。 例) X-MON
	サービス	対象のサービス ID を出力します。 例) PING
	コマンド	対象のコマンド ID を出力します。 例) notify-by-email
監視ステータス	生ログ	ログに出力された監視ステータスを出力します。生ログでは、監視ステータスは数字で示されています。監視に関係のないログの場合、空欄となります。

		例)0
	加工済みログ	ログメッセージを
		例)OK
ステータスタイプ	ステータスタイプ	監視のステータスタイプを出力します。SOFT または HARD のいずれかを出力します。監視に関係のないログの場合、空欄となります。
		例)SOFT
ステータス情報	ステータス情報	監視のステータス情報を出力します。監視に関係のないログの場合、空欄となります。
		例)PING OK - Packet loss = 0%, RTA = 4.55 ms

メッセージ - 加工済みログ一覧

警告履歴	ホストステータスが変化しました。ホスト: {X-MON}, ホストステータス: {UP}, 試行回数: {1}回目({HARD}), ステータス情報: {PING OK - Packet loss = 0%, RTA = 25.67 ms}
	サービスステータスが変化しました。サービスステータス: {OK}, 試行回数: {2}回目({SOFT}), ステータス情報: {PING OK - Packet loss = 0%, RTA = 28.29 ms}
	ホストのスケジュールダウンタイムを開始しました。ホスト: {X-MON}
	ホストのスケジュールダウンタイムを終了しました。ホスト: {X-MON}
	ホストのスケジュールダウンタイムを中断しました。ホスト: {X-MON}
	サービスのスケジュールダウンタイムを開始しました。ホスト: {X-MON}, サービス: {PING}
	サービスのスケジュールダウンタイムを終了しました。ホスト: {X-MON}, サービス: {PING}
	サービスのスケジュールダウンタイムを中断しました。ホスト: {X-MON}, サービス: {PING}
外部コマンド	ホスト障害を認知済にしました。ホスト: {X-MON}, コマンド実行者: {admin}
	ホスト障害の認知済を取り消しました。ホスト: {X-MON}, コマンド実行者: {admin}
	サービス障害を認知済にしました。ホスト: {X-MON}, サービス: {PING}, コマンド実行者: {admin}

	サービス障害の認知済を取り消しました。ホスト: {X-MON}, サービス: {PING}, コマンド実行者: {admin}
	再起動コマンドを実行しました。
パッシブチェック	ホストにパッシブチェックの結果を送信しました。ホスト: {X-MON}
	サービスにパッシブチェックの結果を送信しました。ホスト: {X-MON}, サービス: {PING}
プログラムの再起動	X-MON を再起動しました。